

## 会議録

会議の名称	平成20年度第1回 西東京市総合計画策定審議会
開催日時	平成20年4月25日（金曜日）午後1時00分から午後2時45分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎 3階庁議室
出席者	奥野英子副会長、熊田博喜委員、栗村千代丸委員、小林康男委員、斎藤隆雄会長、高崎三成委員、浜昱子委員、福田和昭委員、松行美帆子委員、水谷俊博副会長、本橋定昭委員、渡辺進委員（50音順） 加藤光章副市長 （事務局）尾崎正男企画部長、柴原洋企画政策課長、古厩忠嗣企画政策課課長補佐、高橋泰彦企画政策課主任、増岡利典企画政策課主任
議題	1. 開会 2. 平成19年度第5回西東京市総合計画策定審議会の会議録について 3. 西東京市基本構想・後期基本計画素案について 4. 平成20年度総合計画策定の進め方について
会議資料の名称	(1)西東京市基本構想・後期基本計画案 (2)平成20年度 総合計画策定の進め方
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言者名：</p> <p>発言内容</p> <p>1. 開会</p> <p>斎藤会長 欠席なし。定足数を満たしているので開始する。 本日は後期計画案の中間答申ということで副市長にご出席いただいている。 事務局の方でも人事異動があったので、事務局から紹介をお願いしたい。</p> <p>事務局 市長が公務のため出席できず、副市長の加藤が代理出席となる。</p> <p>副市長 よろしく申し上げます。</p>	

#### 事務局

4月1日付けでの人事異動により、以前企画政策課長であった飯島が生活環境部の生活文化課長に異動した。後任に財政課の財政課課長補佐であった柴原が企画政策課長に着任した。続いて企画政策課主査の森谷が職員課に異動した。後任に高橋が納税課から企画政策課に着任した。

#### 斎藤会長

それでは会議に入る。会議の次第二番目の項目、平成19年度第5回西東京市総合計画策定審議会の会議録について、事務局から配られているものについて内容等に修正があればお願いしたい。

(A委員、B委員、C委員、D委員から修正箇所の指摘をいただいた。)

#### 斎藤会長

以上、指摘いただいた部分を訂正し正式な議事録にしたいと思うがよろしいか。

(異論なし)

#### 斎藤会長

次に会議次第、三番目の項目「西東京市基本計画・後期基本計画素案について」。前回の会議で、4月4日までに各委員から意見があればそれを提出していただくとのことだった。それについて修正を行うとともに、市役所内部の各所管課にも内容を確認し、今回の素案を修正した。本日は中間答申なので修正表記について事務局からの説明、意見交換を行い、出席いただいている副市長に報告したい。

まず、修正状況について説明を、事務局の方からお願いしたい。

#### インテージ

説明(略)

#### C委員

「市の概況」の部分については前回と変わってないがこれでよいか。

#### インテージ

最終の取りまとめ時には最新のものに差し替えたい。

#### C委員

用語解説というのが入っているが、文章の中では、例えば57ページでは創1-3「男女平等参画社会の推進」の中で、男女平等推進センターを中心に、というのがある。それについては用語解説にはあるが、文章中に用語解説のありなしを示す表記がない。注が入った方が分かりやすい。また用語解説のレイアウトについて統一すべきである。それから「担当する課」という表現があるが、正式に発表されるときも正式のものとして入れるのか。読み手からすると、目標設定に関し責任を持つのはこの課であるという意味に捉えることとなるが支障ないか。

#### インテージ

注あり注なしに関しては、明記することとする。レイアウトに関しては、統一したい。

#### 事務局

前期計画の中では、施策を行う中で、書かれているところがどういう機能、役割を持った組織なのか見えづらかった。今回は、明示し、内容をわかりやすくしたい。

現在示されているものは、まだ調整中である。

#### E 委員

担当する課について。205 ページ、協 1-2 の担当する課が「企画政策課」となっているが、「協働のまちづくりの推進」であれば、コーディネートは企画政策課としても、具体的な事業は、庁内全課にまたがる性格のものであると思う。

#### 事務局

現状では、まずは担当課を示すということで基本認識をいただきたい。その他の事業が出てくる中で、よりよい形に直していく。

#### A 委員

2 ページの文章の最後で市町村合併に触れており、その中で、「西東京市は全国から注目を集めるとともに、新市としてのまちづくりにおいても先駆的な役割を担っています」と前向きな表現で総括している。しかし、計画全体の中で、平成 13 年度に合併して、何が良くなり何が問題なのかという部分の整理をした内容のものがない。私は合併の結果を分析されていると良いと思う。このような内容は、計画中に掲載されているか。

#### インテージ

38 ページに「前期基本計画の成果とまちづくりへの影響」で、前期計画の総括とも今後と課題のような内容を入れる予定である。

#### A 委員

2つの市が統合化され、かつ、前期計画の成果を振り返ると、プラス面とマイナス面があると思う。先駆的で注目を集めたといわれるが、この見解には疑問がある。

#### F 委員

2 ページにある沿革の内容だが、後期では、この文章は前回の文章と同じであり、前回の内容を基礎として、事業を執り行っているということを示すべき。

#### 斎藤会長

市の沿革と市の概況を書き直すことに支障はないか。

#### 事務局

市の沿革と概況は、序論である。序論は基本構想ではないので、修正は可能である。

#### B 委員

現在の議論と関連するが、前期と後期で何が違うのかということを知りやすくすべき。例として、28 ページの人口統計について、人口推計の手法はこれまでこのような計算でやったが、今回は、前回とは違う方式でやったということを示すべき。それであれば、前期計画と後期計画との違いが理解しやすい。それから成果と施策の指標というのはいつごろに議論ができるのか。また、スケジュールとしては、どの時期に検討すべきなのか。今回は、中間報告となっていたが、それとは違うのか。成果と指標がないと実質的な議論が難しい。その議案がいつごろでき、いつ議論するのが知りたい。

事務局

事業等を決めながら施策の成果と指標のことをつめていく。

G 委員

各施策体系に対して、この施策の事業体系の表が入っている。分かりやすくよいと思うが、性質（新規・重点など）の説明が必要。

インテージ

そのように検討したい。

斎藤会長

「現在調整中」というところは、まだ、何も決まっていないうことか。また白紙部分は調整中だが左の事業面などが入っているのはとりあえずこれでいくということか。

インテージ

どちらもまだ決まっておらず、今後検討していく。

H 委員

項目も仮置きと理解してよいか。

インテージ

ご指摘のとおりである。

斎藤会長

本日は中間答申だが、今年度はこれを見直す余地があるという理解でよいか。

事務局

前々回、資料を細かく分けすぎて分かりづらいことがあった。

本案はまず現時点でのとりまとめであり、今後事業や成果指標を含め最終案作成に向けて、議論していきたい。

I 委員

後期基本計画が、どう変わったかということを示してほしい。36～45 ページのあたりも、大きく取り上げたらどうだろうか。

C 委員

221 ページの後ろにある新市建設計画重点施策というのは、こういう内容のものがあるという理解でよいか。

事務局

平成 13 年に合併した際に作ったものに新市建設計画というのがあり、当時はそれしか計画になかった。平成 22 年まで継続していくため、今回はそのまま掲載した。

斎藤会長

234 ページ、「重点プロジェクト推進組織」というのは 222 ページの今のアクションプログラムとは直接かかわりがないのか。

事務局

4 つの重点プロジェクトに対し、それらを市民参加で進行管理する組織であり、直接はかかわりはない。

斎藤会長

それでは、本案を、前年度のまとめとして副市長に提出してよいか。

( 異議なし )

副市長

今後も様々なご意見を頂戴すると思うが、引き続きよろしくお願ひしたい。

( 副市長退席 )

斎藤会長

会議次第 3 番目の項目、「平成 20 年度総合計画策定の進め方」に移る。

インテージ

資料 2 説明 ( 略 )

A 委員

これらの行事の中で参加者に示す資料というのは具体的にはどのようなものか。

インテージ

今回の報告書の概要版を作成する。「めざそう値」の考え方や、市民協働の在り方などを盛り込む予定である。事業を検討する際に「ここは直したほうが良い」というものがあれば、そこを引き取れるようにしたい。

A 委員

中間報告会案では前半に 20 名程度の懇談会形式、後半に 5～8 名程度の意見聴取とある。1 回の開催で前半に 20 名を集め、後半は、その中から数名が前に出てきて意見聴取が実施される形式か。

インテージ

最初は事務局が 40 分ほど説明をし、次にスタッフ込みで 5～8 名単位の小グループを作り、一方的でない形で進める。

A 委員

グループ討議を行うときは司会進行者などもグループ中から選ぶのか。

インテージ

意見の決め付け、誘導をしないことを前提に、事務局側のスタッフで意見を活発にする役割を果たしたい。

A 委員

出前講座案では市内の中にある大学が想定されているが、市内に住み、そこに通っている人に限定しないと意味がないのでは。

事務局

市の市民参加の考え方では、在学者も含むものとしている。

A 委員

シンポジウム案について地方自治の著名人に基調講演を依頼するとある。市内で具体的なまちづくりを実践している方に実践事例を示して頂くというのが分かりやすいかと思うが、この構想の中に入っているか。

インテージ

検討したい。

B 委員

後期基本計画素案の作成とあるが、素案ができたということか。個人的には、全て具体的な目標値などが入った状態で示されなければ素案とは言えない。まだフレームしかできていない状態で討議をすることに意味はあるのか。本来素案ができて初めて具体的な討議ができるのではないか。

斎藤会長

事務局で使っている「素案」という言葉は、この中間答申での資料を意味しているのか。

B 委員

市民には、フレームではなく中身があるから素案を示し、パブリックコメントを求めることがで

きると考える。実質的に議論していない状態でパブリックコメントを求めてよいのか。

#### 事務局

現時点ではこれが素案であるという認識である。総合計画の素案は理念的な部分でのたたき台であり、具体的に何をするかということはこれから詰める。方向性を固めすぎた段階で出すよりも、考え方を示し、市民からキーワードとして出た意見などをくみ取り、秋頃までに方向性を固めるべきかと思う。

#### B委員

どのようなパブリックコメントを求めるのかということ具体的にすべき。早めにとって頂き、スケジュールの中で明示して頂きたい。

#### 斎藤会長

作るというのは、これ以上議論を深めるということか。

#### B委員

このままでは、パブリックコメントが曖昧になるということである。

#### 斎藤会長

資料2によれば、現時点での「素案」とパブリックコメントを反映させたのちの「案」がある。B委員の要望としては、その素案概要をきちんと作っていただきたい、ということか。

#### B委員

素案に対して意見を言うことが前段階であり、案は具体的な中身があって初めて討議・提案などができると思う。中身がないと、10~20代に対して説明できないと思う。

#### A委員

中学・高校生の場合、全体像を説明した上で、西東京ブランドについてどう思うか、などテーマを絞って、意見を拾うべき。

#### C委員

若者に関心をもたせることが一番の目的であると思う。ただ、コーディネートするのが非常に難しい。

#### インテージ

西東京市とイメージするのは何かという、ゲーム感覚での進め方を想定している。そこで、出てきた内容を比べて整合性を取る。西東京に住んで誇りと思うことは何か、そしてそれはなぜか、ということ議論しお互いに気付きを喚起させるのが大事である。

#### J委員

中間報告会・出前講座・シンポジウムなどの位置づけは何か。アイデア出しなのか、アイデアを議論するためか、啓発なのか、という位置づけが必要。位置づけが明確でないとわかりにく

い。

( J 委員退席 )

齋藤会長

7月に審議会から市民参加結果報告が提示され、現在調整中の目標値などが9月・10月になるというのは少し遅い。B委員の指摘のように、審議会の中で具体的なたたき台がないと揉むことができない。一方で、J委員の指摘のように市民参加の位置づけを考えると、並行して検討した方が良い。7月の審議会の時に、現在調整中の指標について仮置きを本置きにすれば、本格的な議論ができる。

E 委員

たたき台がないと議論が難しい。フレームの部分は丁寧で分かるが、これから具体的にどう進んでいくのかということが大事である。第3回審議会もう少し前倒しした方がよい。そうすれば市長への答申まで2ヶ月程度あり、その間にもう一度パブリックコメントを求め、最終的な結論にもっていける。

事務局

今日できた素案は、具体的な事業、指標などが本格化前の段階なので、いったん整理しないと計画案にならない。

まだご指摘いただくところもあるが、今回も最終形としてある程度まとまった形でお示したほうが分かりやすいという認識である。作業時間として不十分であるため、6月に2回目を行っても実のあるものとしてご提示できない可能性が高い。また、その後の進捗等も踏まえ7月に計画案の第1案を出すこととしたい。

インテージ

市民参加は意識啓発が目的である。中身については審議会が一番の議論の場なので、中間報告会・出前講座・シンポジウムでアイデアが出てくることはあるだろうが、中身を大きく変えるということはない。

I 委員

その辺が曖昧であり、はっきりすべき。詳細に決まった段階で報告を頂きたい。

齋藤会長

市民への中間報告会・出前講座などの企画が固まり次第、委員に周知してもらいたい。

インテージ

できれば出前講座などに審議委員の方に立ち会っていただくほうがよいと思う。

齋藤会長

そのためにも、企画の内容を分かるように提示いただきたい。

事務局



中間報告会や出前講座に立ち会っていただく場合、正規の審議会の活動という位置づけではなく、ボランティア活動にならざるをえない。

齋藤会長

当人の判断で参加いただくという形でよいと思う。

A 委員

シンポジウムは9月とのことだが、基調講演などを依頼するにはもっと早く連絡し確保することになるかと思う。先ほど具体的に出たお二人に関しては存じ上げないが、ここで基調講演を依頼する方についていくつか名前を出して皆さんのご意見を伺って依頼して頂きたい。

D 委員

出前講座等に、審議員が出席すると都合が悪いことはないのか。

インテージ

市民の一人として出て頂ければ問題はないと考えている。

B 委員

公債費の一部の繰上げ償還を実施し返済総額を減らす努力するなどよいこともやっている。市報等でもPRすべきことである。

A 委員

2つの市が合併したことで様々な財政的なメリットがあり合併特例債を活用してきたが、それは返さなくて良いのか、返すとしたら大変な借金になるのでは。

事務局

繰上げ償還について、これまで国に中々認めてもらえなかった。今回それが認められ、トータルで18億円の圧縮ができた。

一般の方には知られていない事なので、周知の努力はしなければならない。一方的に進めないでほしいという声もあるが、行政改革として、努力していかなければならない部分もある。

齋藤会長

ご提案としては、例えばそのような内容を紹介するというのは問題ないか。

事務局

色々なコラムなどで入れていくなど工夫したい。

齋藤会長

市政の健全な財政など、そのあたりをコラムに書けば各課の活性化になるのではないかと、という提案である。

#### G委員

市民参加の7月に計画案を出してから市民参加の機会があるが、本来であれば各施策の事業体系が出る前に「あなたは子育てについてどういった事業をやってほしいですか」という意見を聞き、審議会でまとめ、事業体系を市民参加にかけるといった形が市民にとってわかりやすい。具体的なものでないと市民から意見は出ないのではないかと。

ただチャンスが5・6・7月の市民参加のあたりしかないのも、市民が具体的にこうしてほしいといえるような形で意見をとりたい。

#### インテージ

実施時期をずらして、計画案が出た段階でやった方がいいということか。

#### G委員

計画策定のスケジュールもあるので、実施時期が5・6・7月というのであれば、例えば中間報告会で、子育てグループなど分野ごとに分けて行えば、市民の方々も様々な意見があり、身近で具体的なことを言えるのではないかと。また、そのほうが反映しやすい。

#### インテージ

昨年度団体ヒアリングや市民アンケートなどである程度そういう意見を吸い上げることができたと考えている。

#### G委員

普通の方だからこそ、具体的な中身がないと意見が出てこない。団体であれば市との話し合いがあって、フレームワークでも意見を出すことができる。更に、普通の方では身近なことのほうが意見を出しやすいので、具体的な案件に関して意見を述べる機会を設けるべき。

#### D委員

J委員が指摘したように、啓発かアイデア出しか、この案への賛否かという位置づけを明確にする必要がある。

#### G委員

案への賛否だけでなく、アイデア出しの部分から行ったほうがよいと思う。例えば、保育園が欲しいという人が多い場合、施策事業体系を出し、事業体系に関する賛否を聞くという形などはどうだろうか。

#### A委員

中間報告会・出前講座・シンポジウム等にどのくらいの人に参加するのかが懸案事項である。

#### C委員

市民参加に何を求めているのか、また、テーマが重要である。そして、働き盛りの人をどう集めるかがとても難しい。

A 委員

今から市の広報で呼びかけても間に合わないのではないかと。

B 委員

パブリックコメントを募集するときには、どれくらい意見がくるのか。

事務局

ものによっても数は相当異なる。市民生活に直接関係するものであれば市民の関心も高い。1人で複数の意見を提出される方もいらっしゃる。防災対策計画など、難しく、固いものになると、5人の方が複数意見を出したとしても、30~40の意見にとどまるなど、ばらつきがある。

G 委員

今回のパブリックコメントはどのように市報に載せるのか。

事務局

ホームページと市報に掲載し、郵送やメール等で意見を提出するという内容で一定期間行う。

G 委員

市報に内容が載るのか、それとも「ホームページに内容があるので見て意見を下さい」と市報に載るのか。

事務局

ボリュームが多いと市民の方に見て頂けないので、ホームページをごらんくださいとする場合や概要をお示しして、具体的にはホームページをとという場合がある。また、冊子そのものを情報公開コーナーで閲覧し意見をもらう。

斎藤会長

難しい問題で、事務局に検討頂きたい。先ほどのように、案がまとまった時点で委員の方に、郵送でもメールでも審議委員に連絡していただきたい。

それでは、今日の審議会については会議次第4番まで終了した。その他、次の日程を確認したい。

事務局

平成20年度第2回の審議会について。開催日程については事務局では3日ほど予定をとっている。

7月11日金曜日、7月18日金曜日、または7月25日金曜日。いずれも午後2時からということ考えている。

第2回の中で計画案に、ある程度事業などを盛り込んだ形でお示しする、ということになったので、事務局の都合としてはなるべく7月後半がいいかと。

斎藤会長

7月25日午後2時でよいか。

(異議なし)

斎藤

その日程で実施することとしたい。他に何かなければ今日の会議はこれで終了する。ありがとうございました。

以上